

当院における下肢評価の現況

くすもと内科・外科クリニック

○松尾 美希子
野中和樹

小林 恵
楠本 泰博

はじめに

- 近年、血液透析患者における慢性閉塞性動脈硬化症はQOLのみならず生命予後にも重大な影響を与える要因である。

今回我々は、継続してきた5年間のフットケアを再評価する目的にて従来のABIに加えSPP（皮膚灌流圧）、TBI（足趾/上腕動脈血圧比）の測定を行い、今後の当院における下肢評価を検討した。

対象

- ABIを基にしたハイリスク患者 (ABI \leq 0.9) 36名
ABI測定不能の患者4名
- 年齢 62 \pm 11.2歳
- 性別 男性32名 女性8名
- 透析歴 70 \pm 40ヶ月
- 糖尿病 有15名 無25名
- 喫煙 現在9名 過去8名 (禁煙10年未満)

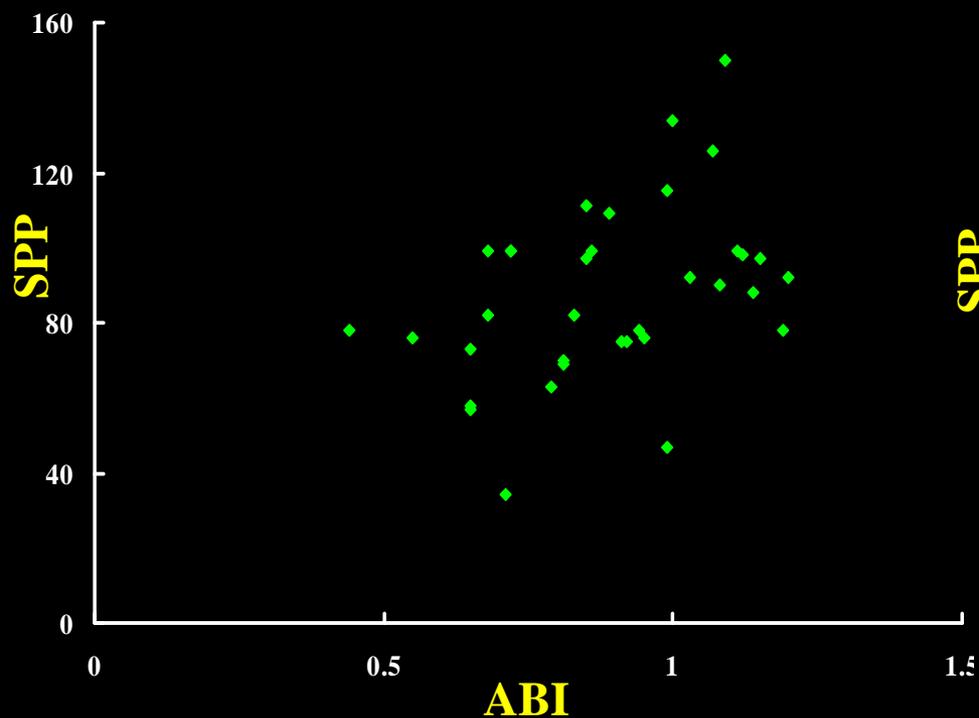
方法

- **ABI**
(ドプラーを用い手動にて足背及び後脛骨動脈の測定)
- **足底SPP** (カネカ社PAD3000) ※レーザードプラー法
- **TBI** (colin社) ※オシロメリック法

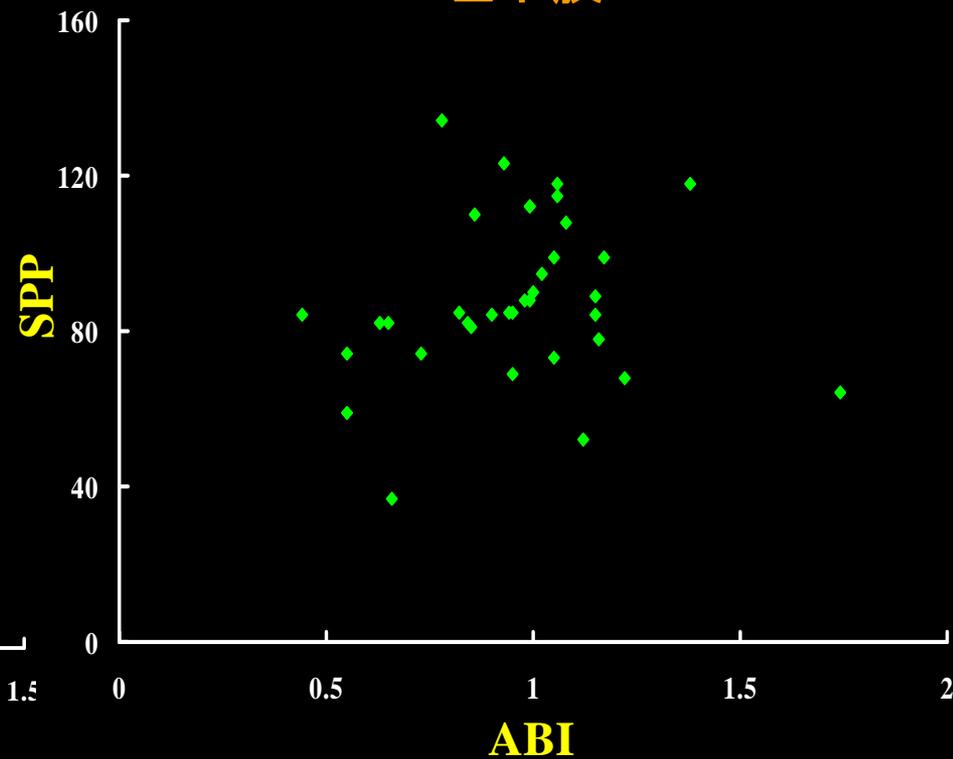
上記3方法を透析開始前、安静臥床状態にて測定

結果① ABI と SPP

右下肢

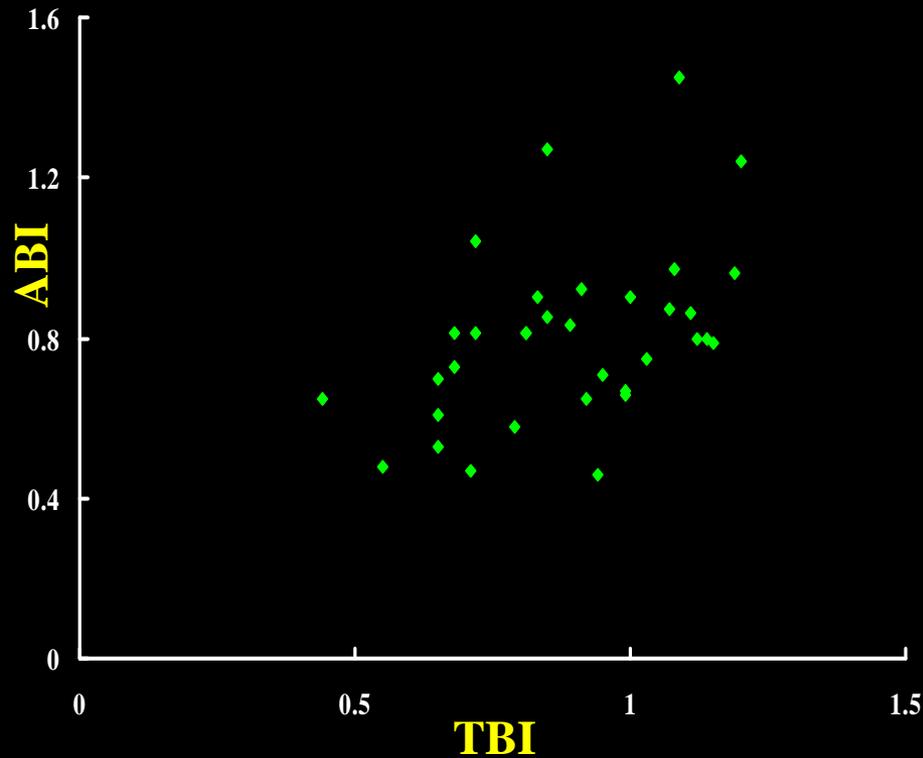


左下肢

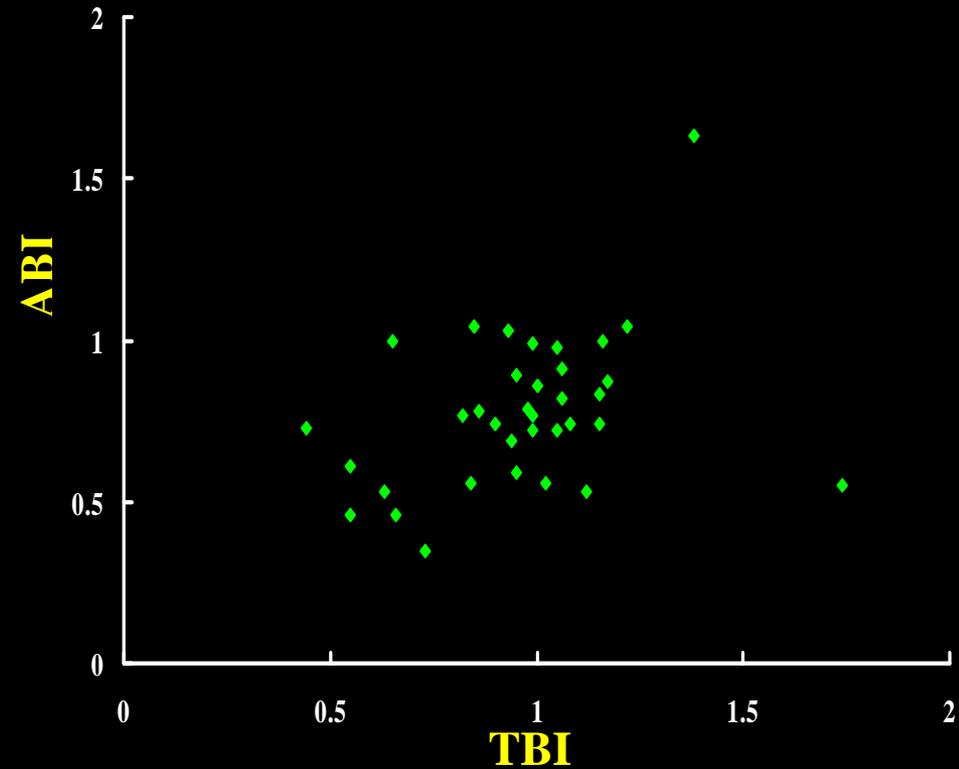


結果② ABI と TBI

右下肢

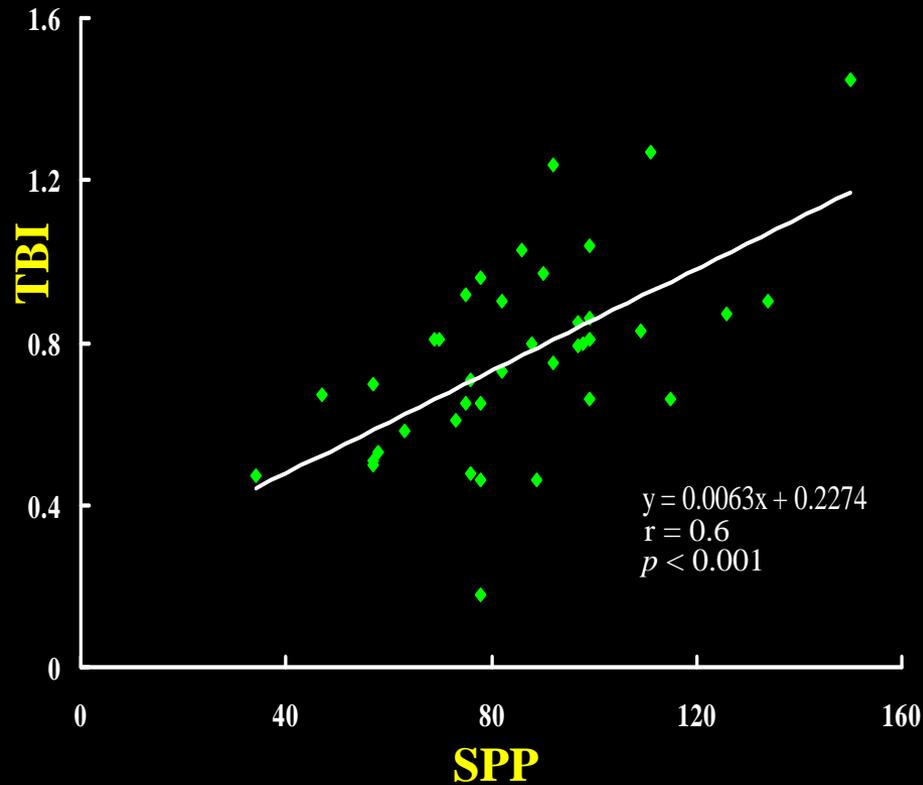


左下肢

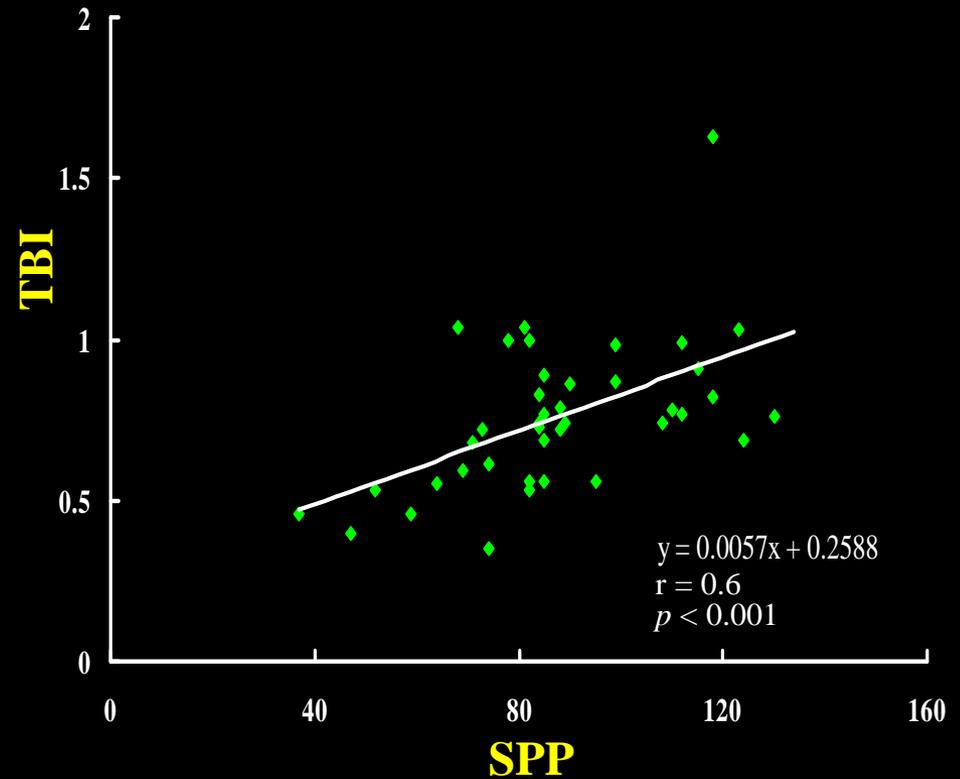


結果③ TBI と SPP

右下肢



左下肢



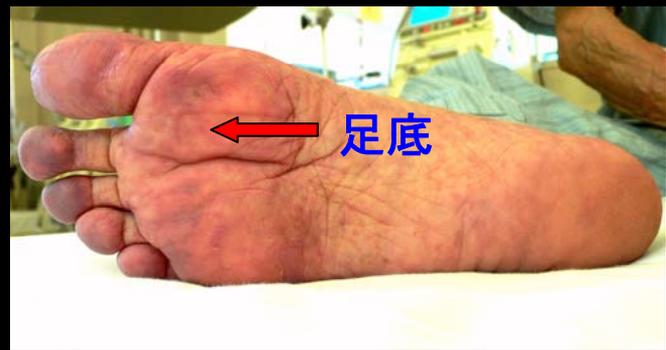
症例 3 (ABI=R0.81 L1.05)

- 82歳 男性
- 原疾患: 糖尿病性腎症 透析歴: 10ヶ月
- 糖尿病歴20年 MK術後の既往有シラクナ梗塞及び右内頸動脈狭窄症の診断あり

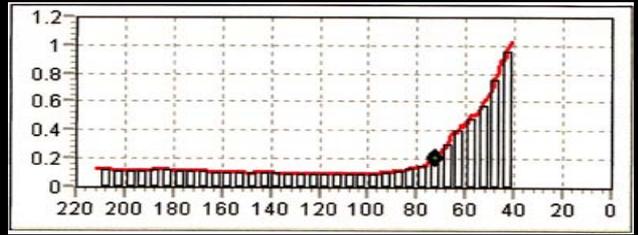
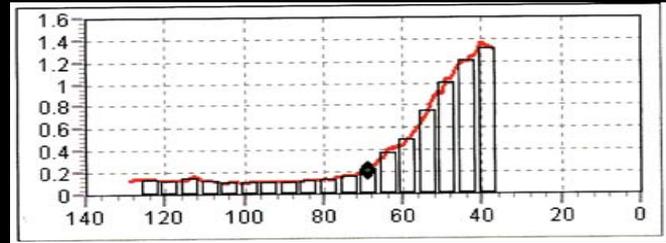
SPP Measurements (values in mmHg)		Extremities Warmed
1. Left Foot - Plantar	足底	73
2. Right Foot - Plantar	足底	69

SPP Measurements (values in mmHg)		Extremities Warmed
1. Left Foot - Plantar	足趾	19
2. Right Foot - Plantar	足趾	9

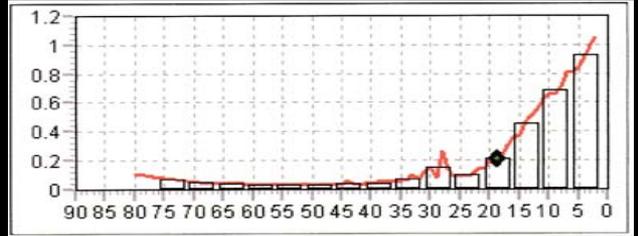
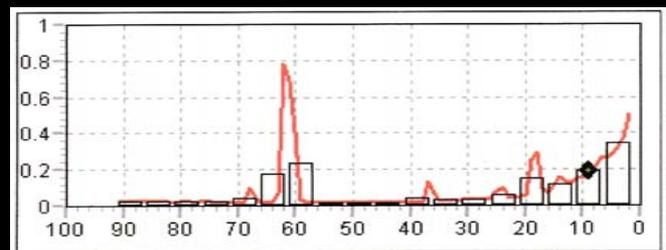
右下肢



左下肢



足底



足趾

症例 1

- 63歳 男性
- 原疾患：糖尿病性腎症 透析歴：5年7ヶ月
- 糖尿病歴32年 網膜症及び神経障害も併発しており起立性低血圧著明

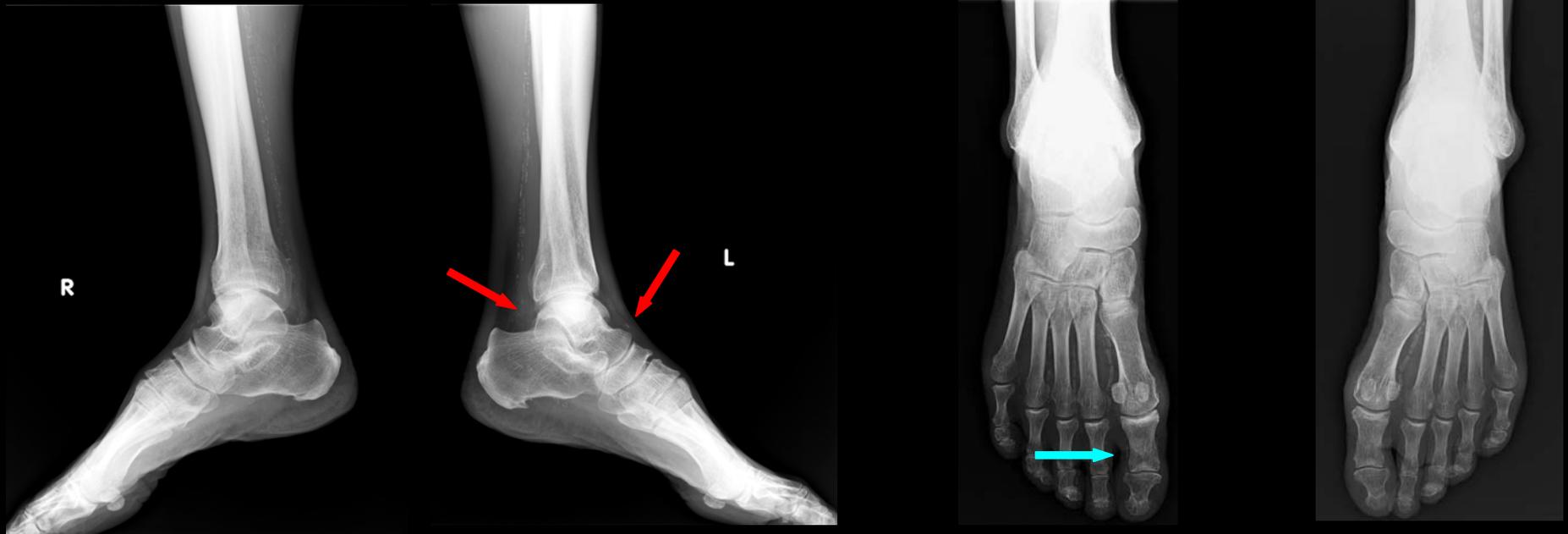
	R	L
SPP値	89	85
TBI値	0.46	0.53



症例 2

- ・ 75歳 男性
- ・ 原疾患：糖尿病性腎症 透析歴：7年4ヶ月
- ・ 石灰化による大動脈弁狭窄症兼閉鎖不全症にて2年前生体弁置換術

	R	L
SPP値	57	71
TBI値	0.5	0.68



まとめ

- ・ 動脈硬化ならびに動脈石灰化病変が多くみられる透析患者に対しては、SPP及びTBIによる下肢評価が有用である。
- ・ SPPとTBIで相関関係がみられた。
- ・ 透析患者の下肢評価においては、より末梢側での状態を把握することが重要であると思われた。
- ・ 今後はそれぞれの足趾に対する血液循環状態を把握するとともに、早期より下肢評価を行い、また継続することで異常の早期発見することが重要である。